

音楽科 学習指導案

1. 日時 令和〇年〇月〇日 (〇)

2. 場所 〇〇〇教室

3. 学部・学年・組 小学部 第4学年

4. 単元(題材)名 「音楽に合わせて表現しよう」

5. 単元(題材)目標

- ・音楽に関心を持ち、楽しむために必要な身体表現や歌唱、演奏につながる技能を身につける。
(知・技)
- ・音楽に合わせて、声や楽器の音を出したり、身体表現をしたりする。(思・判・表)
- ・自ら楽器を選んだり、教員や友だちに感じたことを伝えたりしようとする。(学・人)

6. 児童観 略

7. 教材観

本単元では、学習指導要領音楽科のA表現の歌唱、器楽、身体表現に焦点を当てた。皆で音楽に合わせて表現することの楽しさ、達成感を味わってほしいと考え、本単元を設定した。

身体表現をする楽曲として、『しろくまのジェンカ』を選んだ。この曲は、「タン ウン タン ウン タン タン タン ウン」という特徴的なリズムが刻まれている。このリズムは、1学期の授業のリズム打ちで取り扱ったリズムであり、児童にとってなじみがある。リズムを体で表現する経験をあまりしていないため、取り扱ったことのあるリズムを用いることで、リズムを感じて体で表現しやすいのではないかと考える。また、ジェンカは簡単な振り付けであり、児童にとっても取り組みやすい。この活動を通して、手拍子を打ったり、楽器で演奏したりする以外にもリズムを感じる方法があることを知り、体でリズムを表現し、音楽に合わせて体を動かす経験を積んでほしい。

歌唱曲は、『やまびこごっこ』を選んだ。この曲は掛け合い歌で、交代で同じ歌詞を歌う曲である。3年生や4年生の歌唱の授業で本楽曲と同じような特徴である追いかけ歌を取り扱っており、児童にとってなじみがある。また、授業を進めていく中で、教員が先に歌い、児童が後で歌うという形だけでなく、クラスごとに分かれ歌うパートを決め、児童がお互いの声を聴いて歌う活動にもつなげることができる。他者を意識するきっかけになる活動も設定できるため、本楽曲を選んだ。

器楽の演奏曲として『いろいろな木の実』を選んだ。この曲は小学4年生、音楽の教科書に掲載されている曲である。また、打楽器でリズムが取りやすく、一緒に演奏している雰囲気や、できたときの達成感が味わいやすい。この曲で演奏する楽器として、ギロ、マラカス、クラベス、コンガを選んだ。どの楽器も手を動かすことで簡単に音が出せる楽器である。また、これらの楽器は木や皮で作られており暖かい音色がし、この音色が木を感じやすく、曲調にも合っている楽器であるため選んだ。ギロ、クラベス、コンガは児童が普段あまり使わない楽器であるが、マラカスは児童にとってなじみがあり、手に持って音を出しやすい。あまり使ったことがない楽器ばかりではなく知っている楽器があることで児童も安心して活動できると考えたため、これらの楽器を選んだ。

今までの経験を生かしながら、他者の表現を見たり聴いたりすることを意識するきっかけになると考えたため、本単元を設定した。

8. 指導観

本活動では、歌唱や合奏、身体表現を通して、児童がみんなで一緒に表現する楽しさ、達成感を感じることができるように、教員は児童の活動の良かったことに留意し、具体的に評価できるように意識して進める。全体を通して、曲に親しみをもち、曲想や歌詞を感じられるように、最初の授業で曲を聴く時間を設ける。児童がどのような曲か分かったところで活動を進める。

身体表現では、特徴的なリズムを意識しやすいように、まずリズムを手で取るところから始める。ただし、身体表現の活動のため、ダンスのリズムを感じることができるような指導にする。活動は、安全面も考慮しつつ、前の人の肩を持ち、列になって活動をするグループ、一人ずつ間隔をあけて活動をするグループを2つに分けた3グループに分けて行う。このグループは、同じような実態の児童どうしになるようにグループ分けをする。活動の最後に、頑張っていた児童を発表することを最初に伝えておくことにより、活動に意欲をもって取り組めるようにする。

歌唱では、最初の授業で「やまびこ」とは何かをイラストや動画で、児童がイメージできるように提示をする。活動としては、教員が先に歌い、児童全員で後のパートを歌う活動、クラスで前後のパートに分かれて歌う活動をする。他者の表現を聴くために、教員が先に歌う際には最初は一定の大ききで歌い、活動に慣れたときに教員が声量の大小を変えることで、教員の声に意識を向けることができるようにする。パートを分けるときは、友だちの声を意識して聴き、曲のテンポに合わせて歌えるように指導する。この際、友だちを意識することができるように、パートごとに分かれて向かい合うことができるような配置にする。これらの活動で他者を意識して一緒に活動する経験を積めるようにする。また、活動に入る前に声出しと練習のためにパートの確認し、児童がどのように歌うかイメージをもつことができるようにする。歌う際、児童が声を出しやすいように一部の歌詞を変え、替え歌で歌うことを児童に伝える。

器楽の活動では、4種類の楽器を使用し、みんなで演奏する。最初は全員同じ楽器を使い、リズムを確認する。2回目の授業からはリズムと楽器の鳴らし方を確認した後、児童が演奏する。演奏する楽器は、児童が自分で選べるように2択に絞るなど、実態に応じて支援をする。楽器が決まり、実際に児童が楽器を持ったタイミングで教員と一緒に楽器の鳴らし方を確認する。このことで、演奏の直前に楽器の鳴らし方を確認することができ、児童が演奏しやすい。一斉に演奏するパートだけではなく、各楽器のみの演奏パートを用意することで、他の楽器の音を聴ける時間を設ける。みんなで一緒にできた感覚を共有しやすいように、演奏の際には一緒に楽器を演奏している友だちの音にも意識をして聴くように伝える。

全体の流れとして、初めての曲ばかりだと集中が続かないことも考えられるため、途中で児童が知っている曲を挟むことで、意欲的に取り組みやすいようにする。また、前に出る活動では、呼名と児童の顔写真を提示することで自分が発表することが視覚的にも分かるようにする。音楽に合わせて友だちや教員と一緒に活動することは、メロディーや他の楽器の演奏などの自分の表出以外の要素を聴く必要がある。この経験から、児童には他者やクラスをより意識し、一緒に活動をするための土台づくりにつなげてほしい。

9. 単元（題材）の評価規準

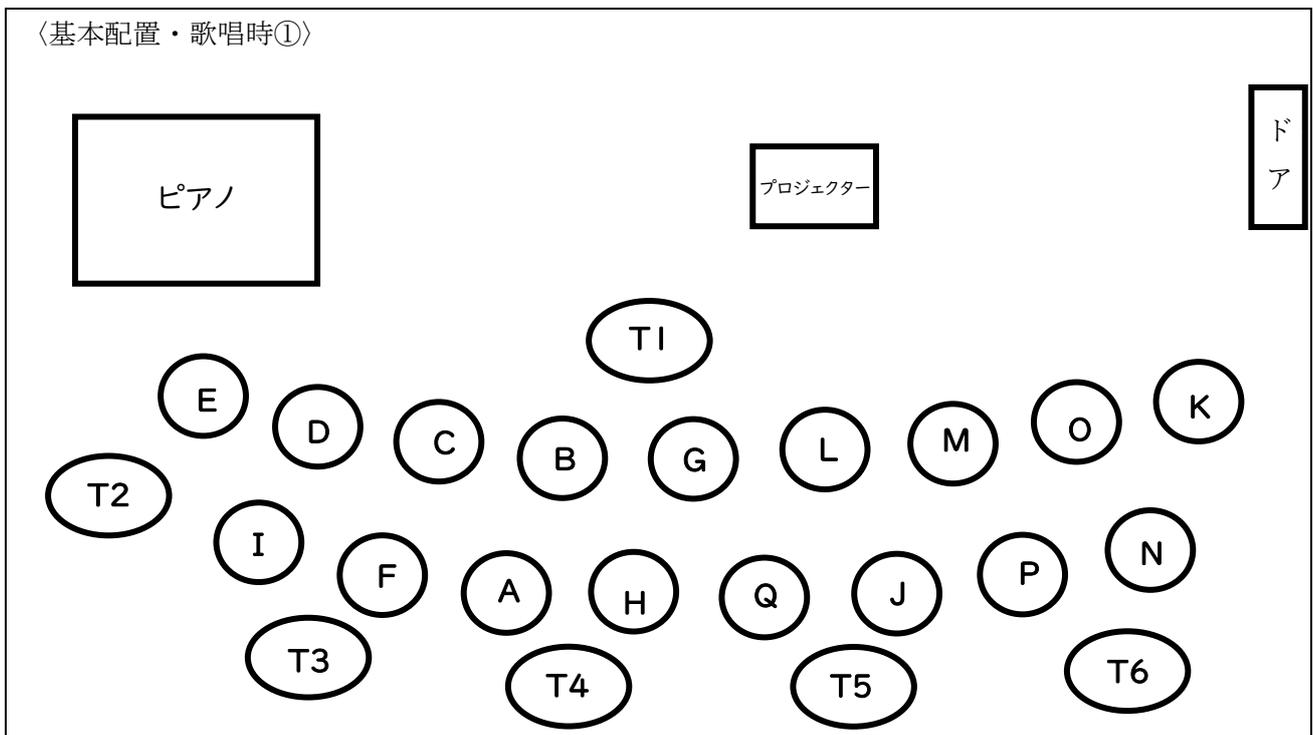
A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
<p>① 教員の手本を見て、曲を意識しながら歌ったり、体を動かしたりすることができる。</p> <p>② 曲を聴いたり、教員の手本を見たりして演奏ができている。</p> <p>③ 繰り返し出てくる歌詞やリズムに気づく。</p>	<p>① 教員の手本を見ながら、曲のタイミングを意識して手や体を動かしたり、楽器を演奏したりしている。</p> <p>② 聴こえてくる曲や、教員や友だちの声に合わせて歌っている。</p>	<p>① 楽器に興味をもち、演奏したい楽器を自ら選ぼうとしている。</p> <p>② 音楽表現をする中で、感じたことや自身の思いを教員や友だちに伝えようとしている。</p>

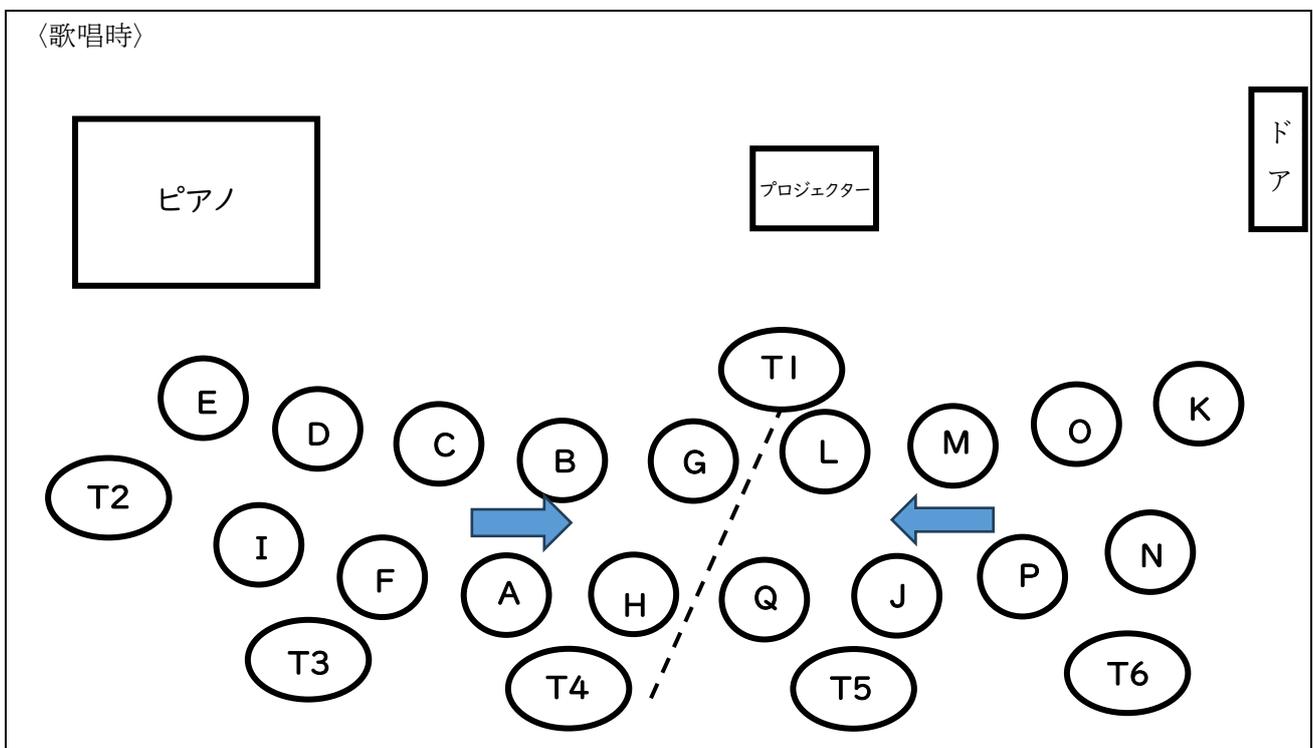
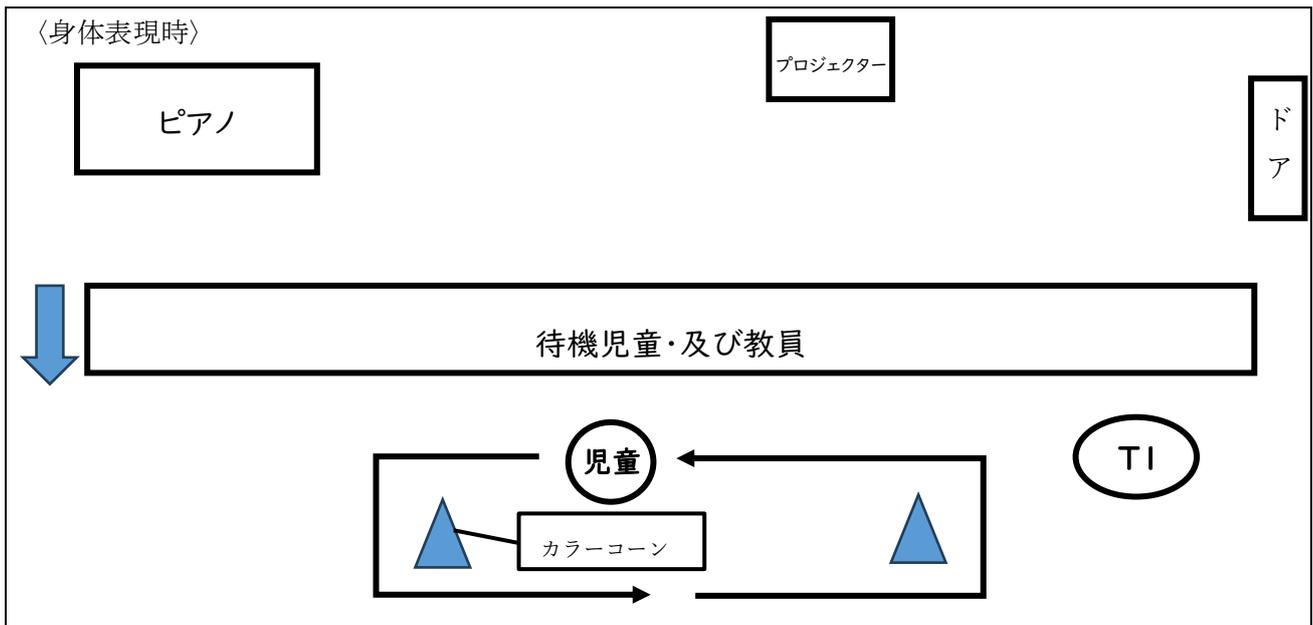
10. 単元（題材）の指導と評価の計画（全4時間、本時は第3時）

次	時	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価規準(評価方法)
1	1	・音楽に親しもう！	<ul style="list-style-type: none"> 『しろくまのジェンカ』のリズムを知り、教員と踊る。 『やまびこごっこ』を教員の後に続いて歌う。 『いろいろな木の実』の曲を聴き、マラカスでリズムの練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 最初にどのような曲か聴く時間を設け、曲を知ることができるようにする。 児童がイメージをもちやすいように、視覚的な提示を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・A①（行動観察） ・A③（行動観察） ・C②（行動観察）
	2	・音楽に親しもう！	<ul style="list-style-type: none"> 『しろくまのジェンカ』のリズムを意識し、友だちや教員と踊る。 『やまびこごっこ』を友だちの声を聴いて歌う。 『いろいろな木の実』の曲を、自分で楽器を選んで演奏する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくり曲を流して児童が表現しやすいようにする。 ・曲のどの部分を意識すればいいかを事前に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・A①（行動観察） ・C①（行動観察） ・C②（行動観察）
3	3 (本時) 4	・音楽に合わせて表現しよう！	<ul style="list-style-type: none"> 『しろくまのジェンカ』のリズム意識し、友だちと一緒に踊る。 『やまびこごっこ』を教員や友だちの声に合わせて歌う。 『いろいろな木の実』の曲を様々な楽器で演奏する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回までの振り返りをする中で、どのような部分に注目していたか思い出せるようにする。 ・曲のリズムやテンポを意識できるようにどこに注目するかを事前に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・A②（行動観察） ・B①（行動観察） ・B②（行動観察）

	<p>5 器楽</p> <p>『いろんな木の実』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員で手を叩いてリズムの練習をする。 ・楽器の鳴らし方の確認をする。 ・クラスごとに前で、ギロ、マラカス、クラベス、コンガの演奏をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分がどのグループか分かるように、楽器と写真を提示する。 ・鳴らし方の確認をパートごとに行う。 ・待っている児童は、友だちの演奏に注目し、静かに聴くように伝える。 	A②（行動観察）
6分 ま と め	<p>6 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の感想を発表する。 <p>7 あいさつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の顔写真カードが入ったボックスからカードを引き、児童を合計2人あてる。 ・必要に応じて、言葉かけや絵カードの提示をする。 ・姿勢を正すように促して、終わりを意識できるようにする。 	

(6) 教室配置等





〈楽器演奏時〉

